

JFEシステムズ株式会社

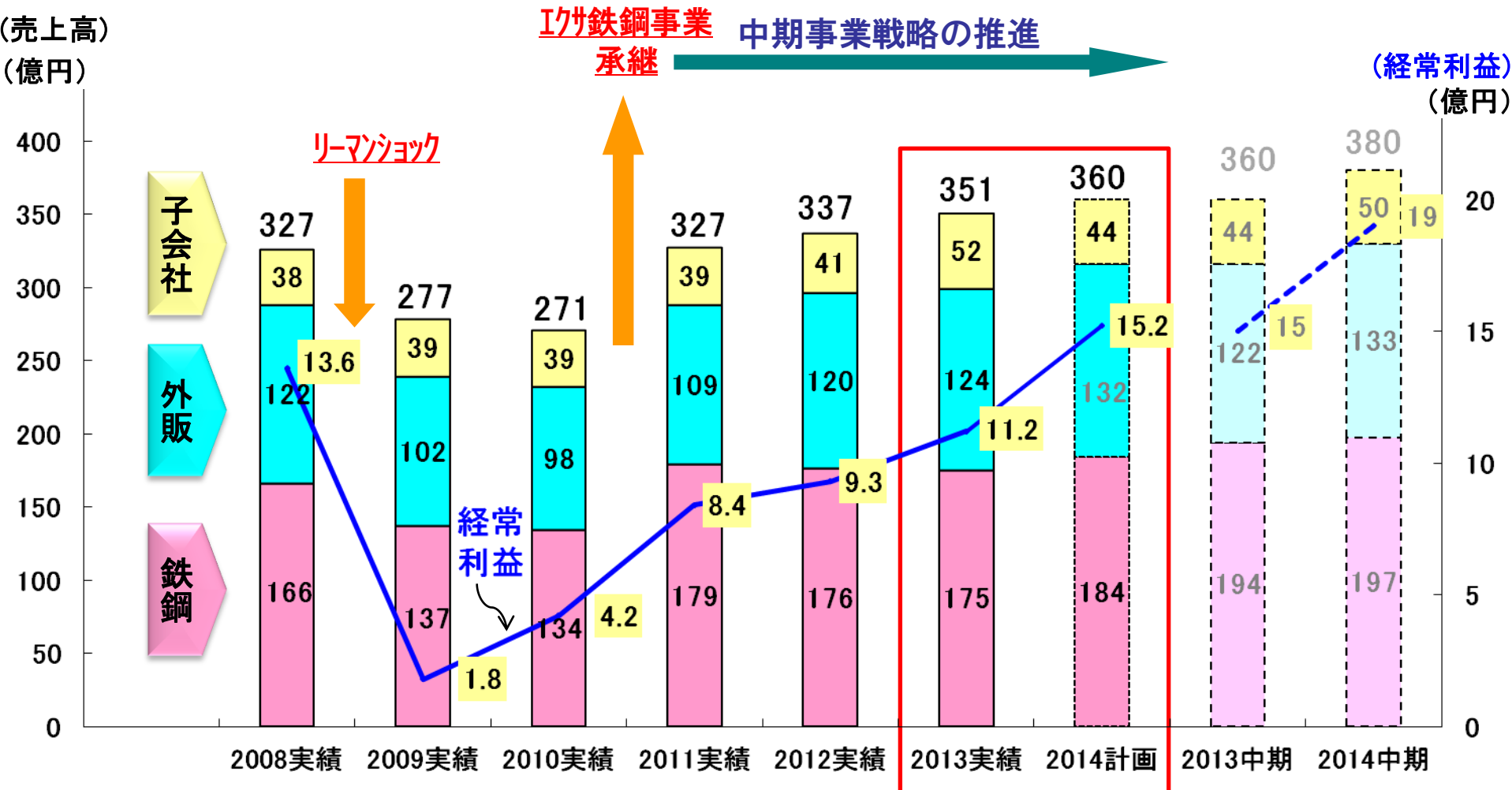
2013年度 決算説明会

2014年4月24日

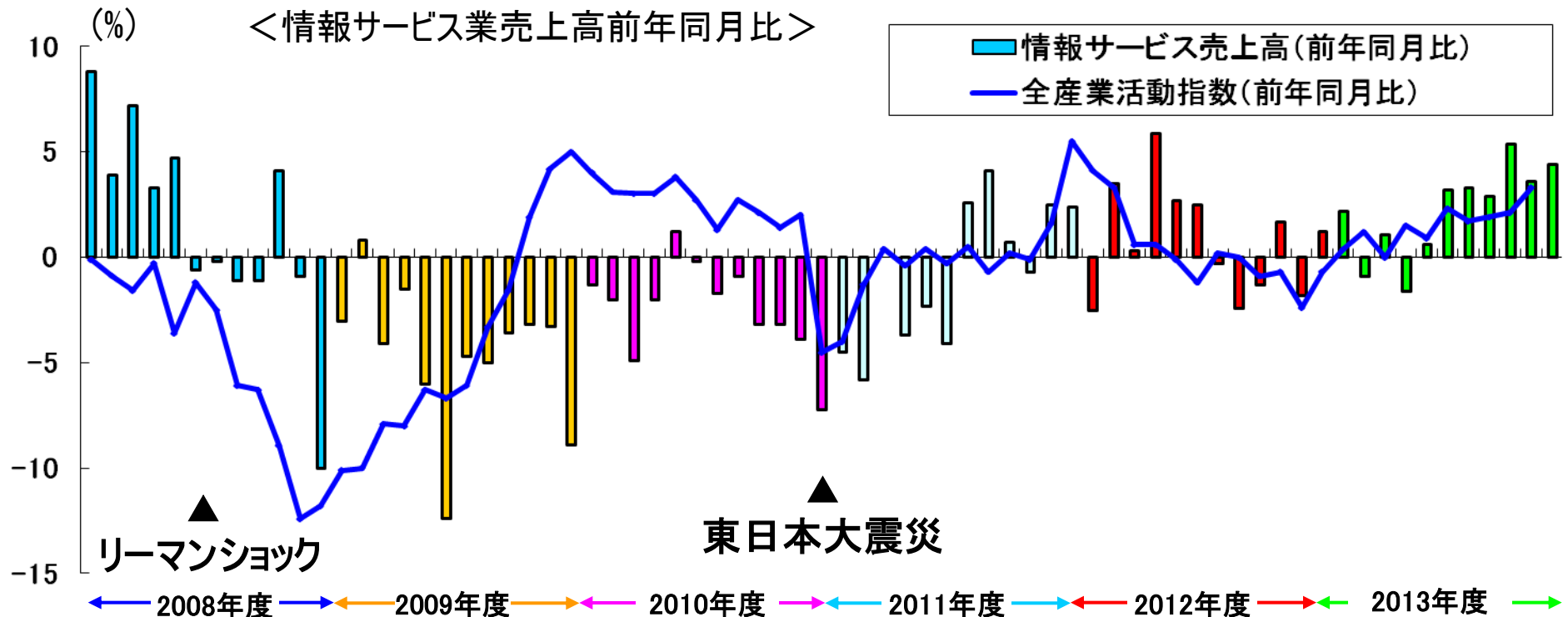
I . 2013年度決算概況	P 5
II . 2014年度業績見通し	P 9
III . 中期課題の推進と主な取組み	P12

はじめに一連結売上高・経常利益の推移

- 2013年度は中期事業戦略の着実な推進により3期連続の増収増益を達成
- 2014年度はリーマンショック以前の過去最高水準の収益を目指す



- 情報サービス業界の売上高は直近でプラス基調が継続
- 産業分野別には、自動車および素材産業などが堅調に推移
- JFEスチールはシステムのリフレッシュを一部再開し、今後も継続の予定

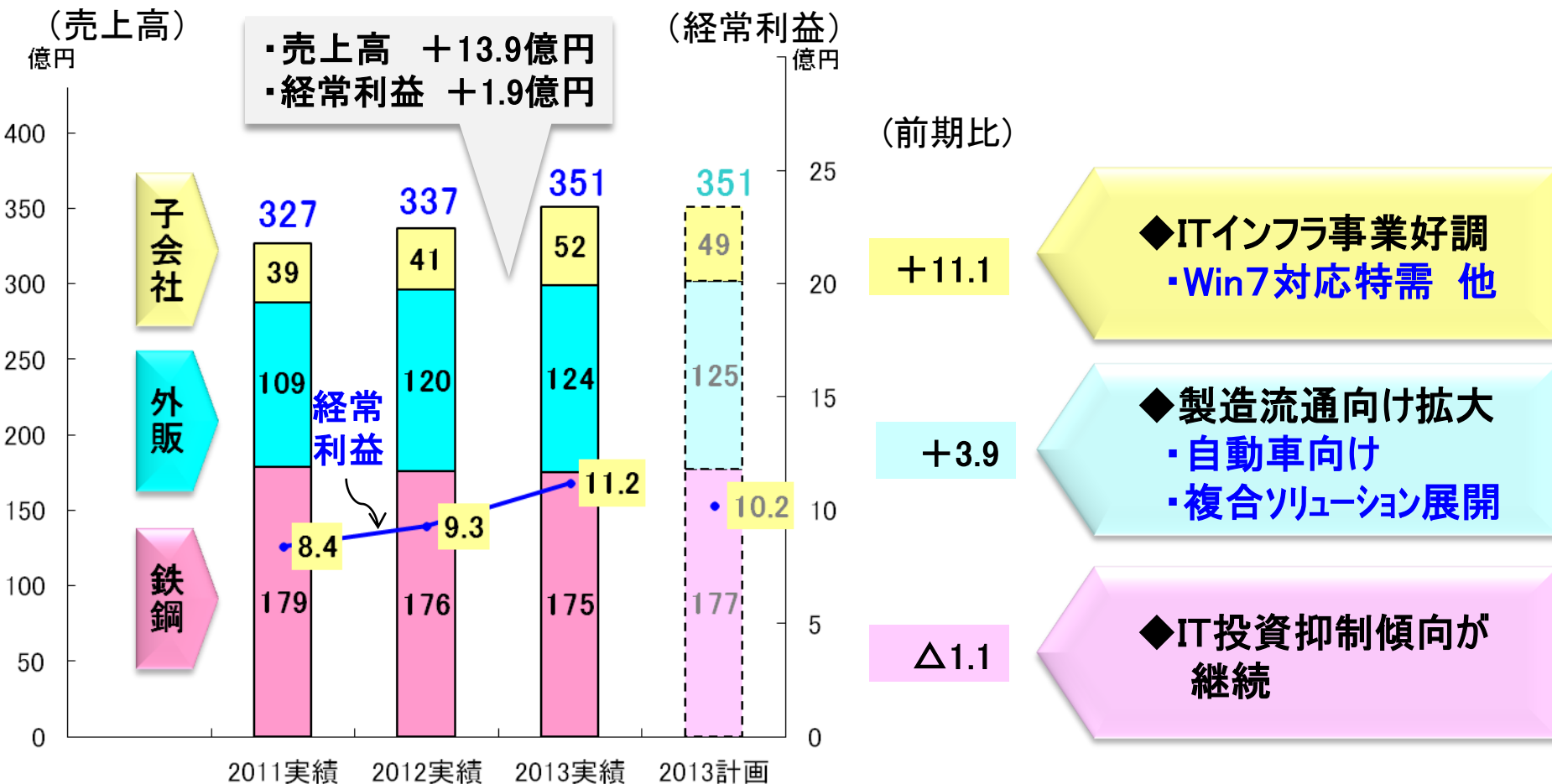


(出所: 経済産業省特別動態統計、全産業活動指数)

I . 2013年度決算概況

2013年度業績の概要(連結)

- 前期比では、売上高、経常利益とも増収増益
 - ・ 鉄鋼向け売上高はほぼ横ばい
 - ・ 外販製造流通向けおよび子会社KITシステムズのITインフラサービスで増収
- 計画比では、売上高、経常利益とも目標を達成(対目標+1億円の増益)



2013年度業績(連結:前期比)

■前期比増収増益

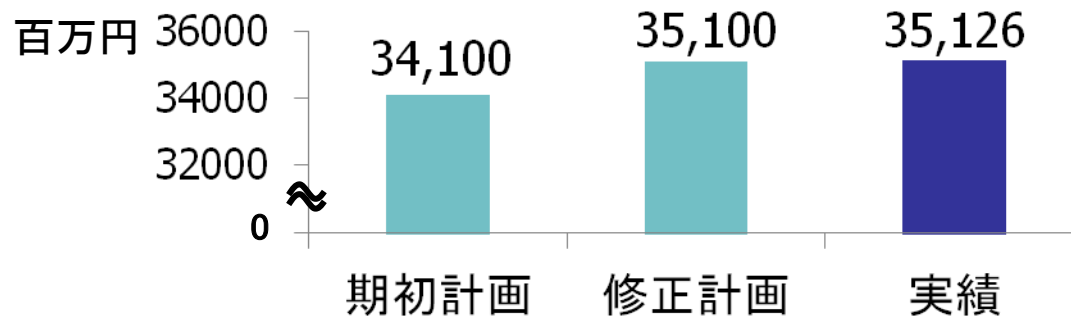
単位:百万円

	2012年度 実績	2013年度 実績	増減	
			金額	率
売上高	33,736	35,126	1,390	4.1%
売上総利益	5,752	5,981	229	4.2%
(売上総利益率)	17.1%	17.0%	(△0.1ポイント)	
営業利益	923	1,103	180	19.6%
経常利益	926	1,121	195	21.1%
(経常利益率)	2.7%	3.2%	(＋0.5ポイント)	
当期純利益	503	559	56	11.1%

2013年度業績(連結:計画比)

■売上高はほぼ計画通り(*)、経常利益は計画を超過達成

(*)売上高計画は昨年10月に34,100百万円→35,100百万円に上方修正



単位:百万円

	2013年度 計画	2013年度 実績	増減	
			金額	率
売上高	(*) 35,100	35,126	26	0.1%
営業利益	1,020	1,103	82	8.0%
経常利益	1,020	1,121	101	9.9%
(経常利益率)	2.9%	3.2%	(+0.3ポイント)	
当期純利益	520	559	39	7.5%

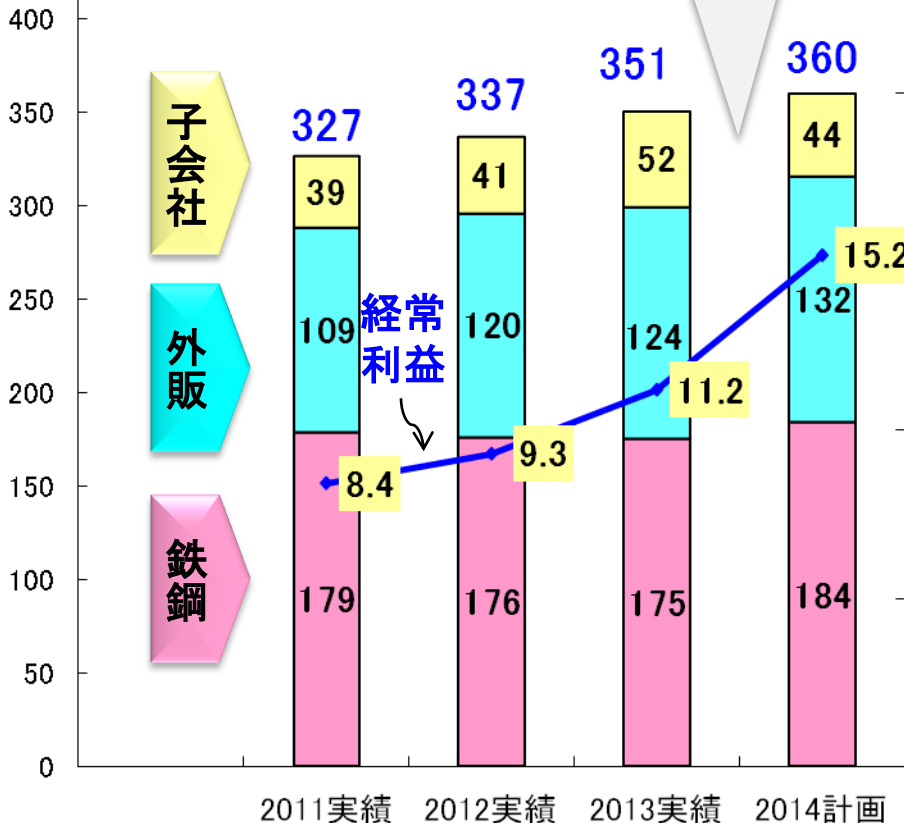
Ⅱ . 2014年度業績見通し

2014年度業績見通し概要 (連結: 前期比)

- 鉄鋼向け、および外販製造流通、金融向け等の拡大により、増収増益を目指す。
- 経常利益は大幅な増益を計画し、過去最高水準を目指す。

(売上高)

億円



(経常利益)

億円

(前期比)

20

△8.7

+8.7

+8.7

- ◆ Win7対応等特需終了
- ◆ インフラサービス拡大
音声クラウド、ヘルプデスク、地震速報サービス等

- ◆ 製造流通向け拡大
- ◆ 金融向け大型案件

- ◆ システムリフレッシュ再開
 - ・ 全社共通システム化推進
 - ・ 案件の大型化

2014年度業績見通し(連結:前期比)

■前期比増収増益を目指す。

■

<ul style="list-style-type: none"> ・鉄鋼大型案件の実行 ・外販製造流通向けの拡大 ・事業基盤強化の取り組み 	}	により、経常利益+4億円を目指す。
--	---	-------------------

単位:百万円

	2013年度 実績	2014年度 計画	増減	
			金額	率
売上高	35,126	36,000	874	2.5%
営業利益	1,103	1,520	417	37.9%
経常利益	1,121	1,520	399	35.6%
(経常利益率)	3.2%	4.2%	(+1.0ポイント)	
当期純利益	559	860	301	53.8%

Ⅲ. 中期課題の推進と主な取組み

中期事業戦略の推進

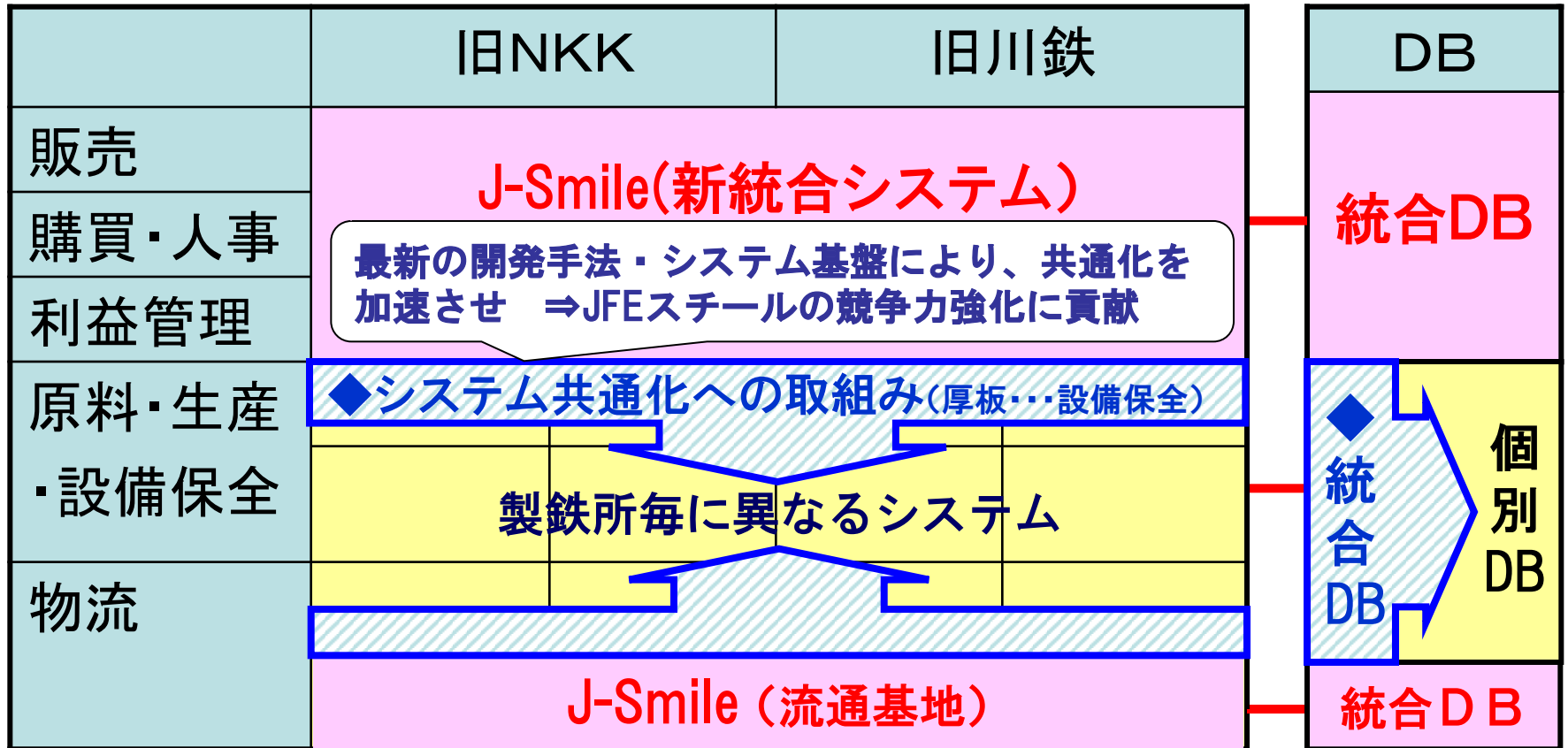


鉄鋼システム統合・共通化への取組み

■ リアルタイムで全社現品情報を把握 = 統合現品DB =

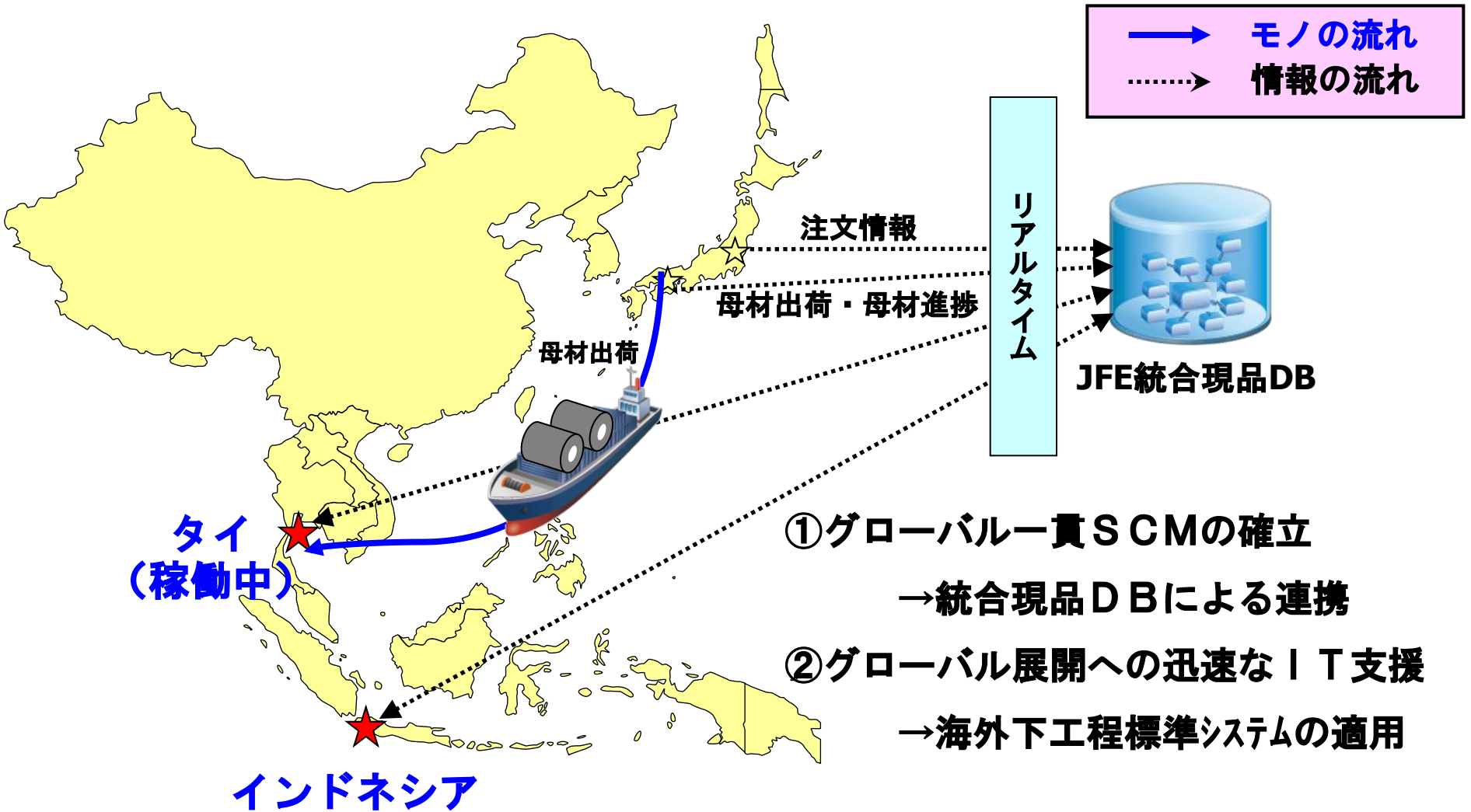
■ 製鉄所システムの共通化への取組み

厚板オーダーエントリーシステム統合、設備保全、出荷納入管理、海外下工程 2 社目展開



JFEスチールと連携したプロジェクトで製鉄所システム共通化を推進中

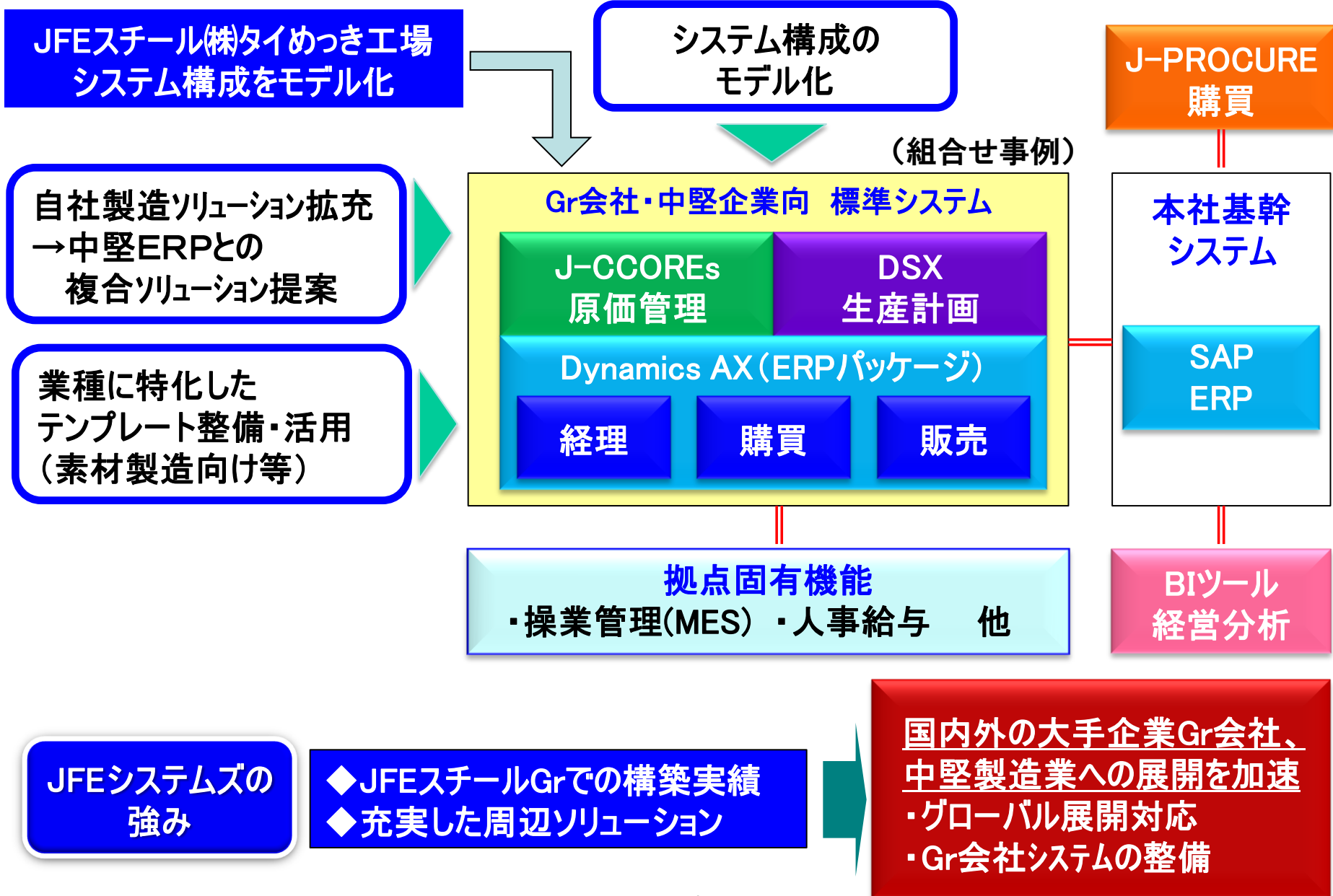
■海外下工程標準システムの2社目展開



- ①グローバル一貫SCMの確立
→統合現品DBによる連携
- ②グローバル展開への迅速なIT支援
→海外下工程標準システムの適用

＜タイに引続きインドネシアに2社目を展開＞

大手企業Gr会社、中堅製造業向け基幹システムの展開



製造流通ソリューション拡充による新規顧客の開拓

- グローバル化の進展により、Gr会社の基幹システム整備ニーズが拡大
- 独自ソリューションの拡充と、国内外の大手企業Gr会社への提案を加速

<製造業を取り巻く環境＝グローバル化の進展>



大手企業Gr会社、中堅製造業向け
基幹システム構築のニーズ拡大

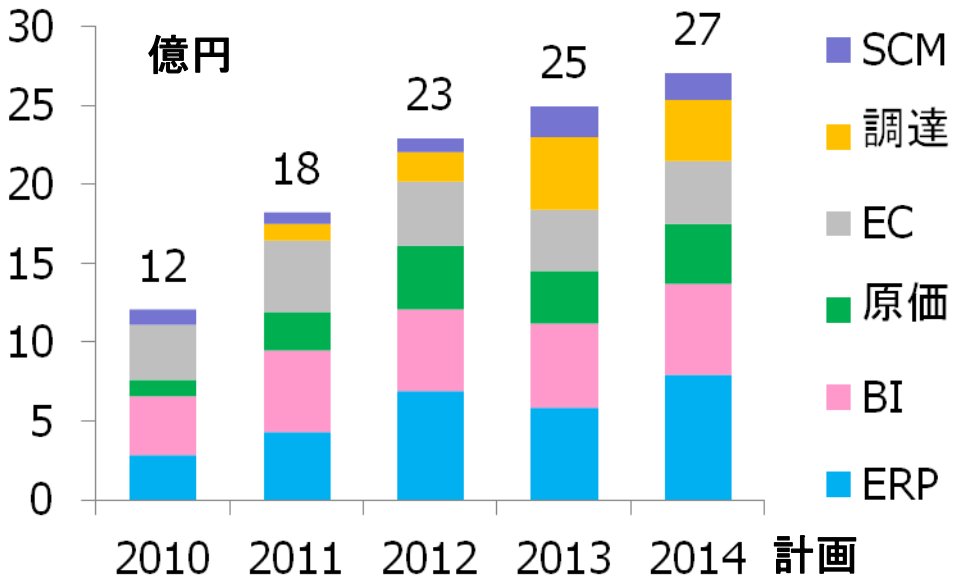
↓

- ◆システム構成をモデル化
- ◆製造流通ソリューションの整備・拡充

↓

ERPとの複合ソリューション提案

製造流通ソリューション 売上高



<主なソリューション>

RapidResponse

BizTalk Server

SAP® BusinessObjects™

SAP®

DSX

Enterprise Commerce®

J-CCOREs®

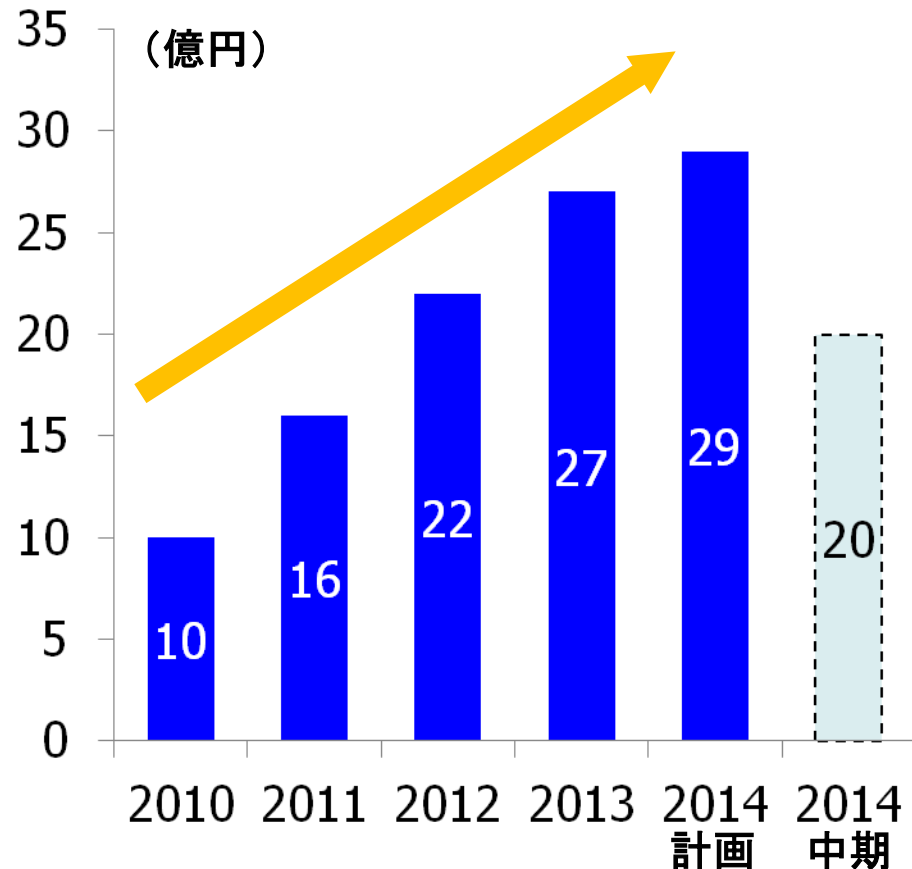
KPIMart®

Microsoft Dynamics AX

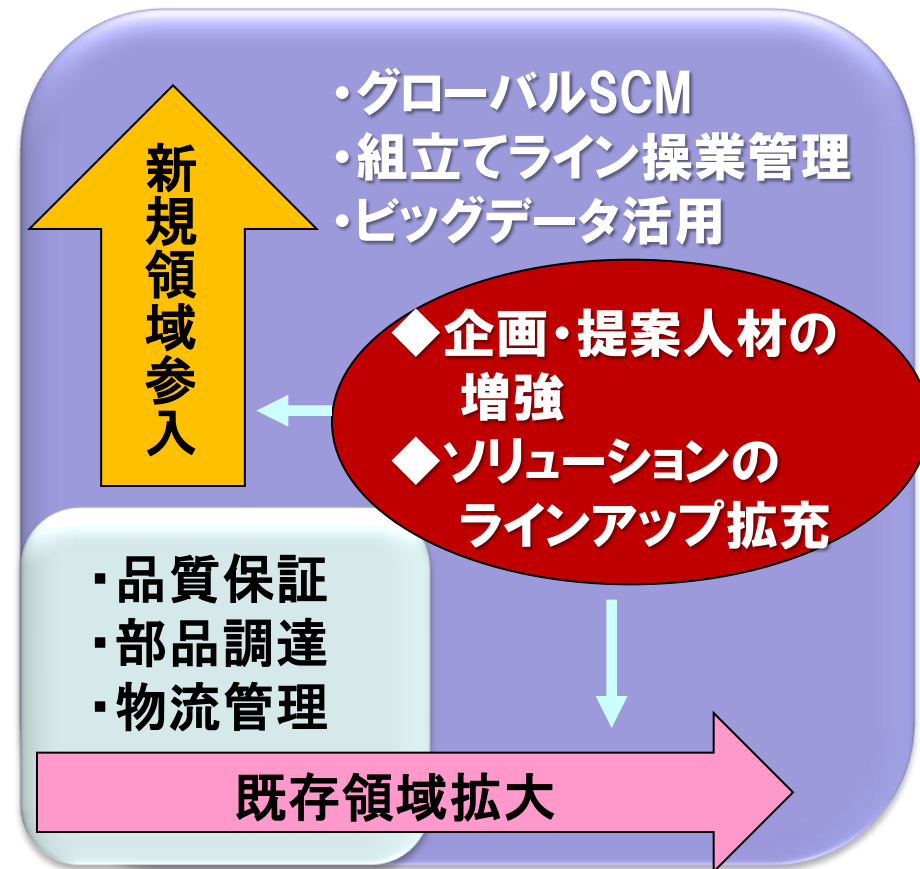
重点顧客(自動車系)における領域の拡大

- 自動車業界のニーズをとらえ、領域拡大、新規領域参入を推進
 - 企画・提案人材を増強
 - ソリューションのラインアップ拡充

自動車系 重点顧客売上高



事業領域拡大戦略



■中堅・中小顧客への拡販により顧客基盤の拡大、ブランド力強化をはかる

○MerQuriusNetサービスの拡大

○食品情報管理テンプレート活用

食品ソリューション ターゲット顧客

【売上規模別顧客層】

1,000億円
以上

大手食品メーカー
→既存顧客ゾーン

500億円以上

300億円以上

100億円以上

中堅・中小食品メーカー
→新規ターゲットゾーン

100億円以下



Mercrusius®
品質情報管理システム
Quebel®
製法管理システム



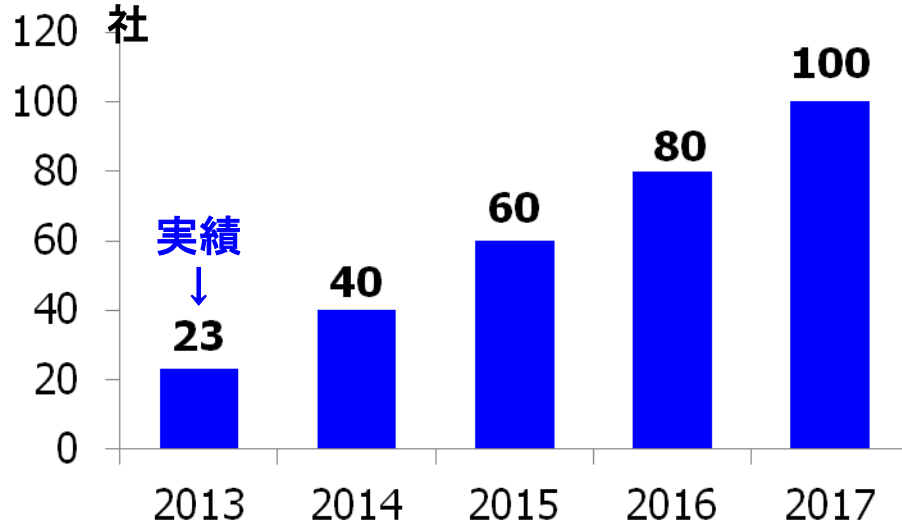
原料規格書サービス
(原料～加工の情報連携)

(活動状況：次ページ)

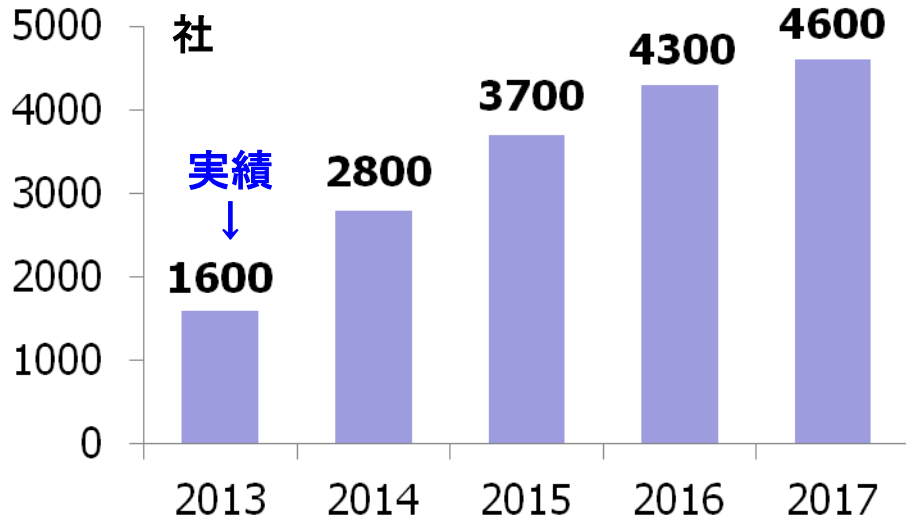
中堅・中小顧客向け
食品情報管理テンプレート

基本機能をパッケージ化
(2014/2月リリース)

食品メーカー 加入社数目標



原料サプライヤ 加入社数目標



2012年大手食品メーカー10数社の協力を得て、原料規格書を共通化

↓
食品メーカーと原料サプライヤの
情報連携サービス「MerQuriusNet」
をリリース



- ↓
- ・フォーマット、ルールの共通化
 - ・記載ミス、漏れの防止
 - ・負荷軽減、コスト削減

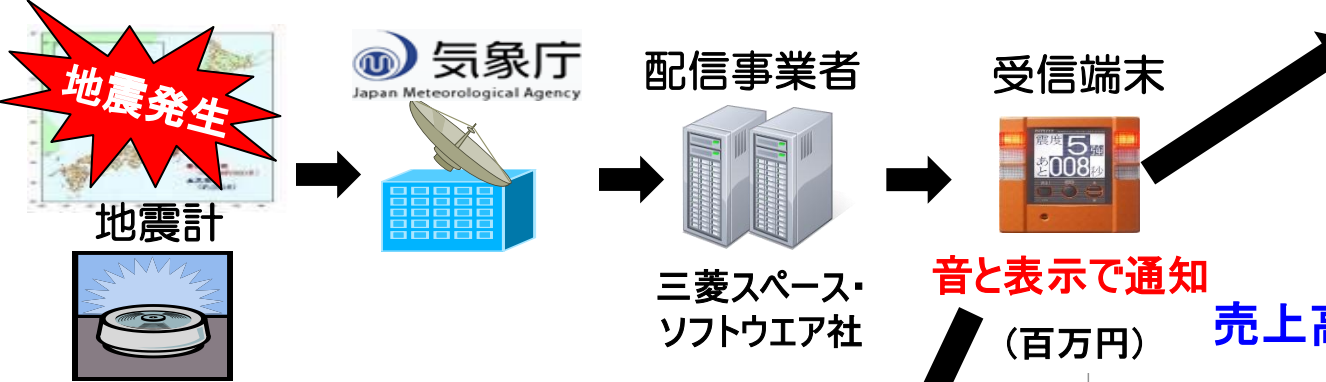
◆ 加入社数が増えることで、食品業界全体で波及効果を生み、情報の精度が向上。

↓
◆ 食の安全、安心への更なる貢献

KITシステムズ 緊急地震速報「MJ@lert」の拡大

- 大きな揺れが到達する(数秒～数十秒)前に、予想震度・到達猶予時間を伝達することで、従業員の安全確保/企業の経済的被害軽減を実現する仕組み

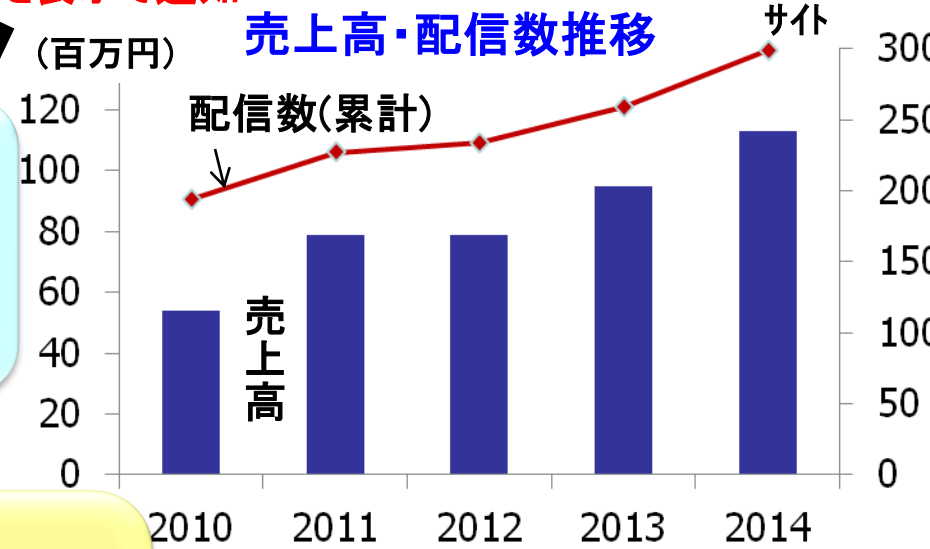
エレベータを最寄り階で緊急停止させ、閉込め防止を実現



音と表示で通知

売上高・配信数推移

警報を聞き、揺れが来る5秒前に「身構える」だけで、死傷者は80%削減できる。
(目黒公郎 東大教授)



東日本大震災時のお客様の声

- ・ 警報を聞き安全な場所へ移動
→ ロッカーの下敷きにならず、従業員が無事。
- ・ 緊急地震速報が起動したビルでは、エレベータの閉じ込め事故が1件も発生せず。
→ ビルの信頼性向上に貢献。



- 2013年度業績および2014年度業績見通しを受けて、
2013年度配当予想の修正および2014年度配当予想を
下記の通りとします

2013年度
前回予想
20円／株



2013年度
今回修正予想
22円／株



2014年度
予想
28円／株

JFEシステムズ株式会社

ご清聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。